

昭和47年1月～平成30年9月までに

当センターにおいて病理検査をお受けになった患者さんとご家族の方へ

(1) 研究の概要について

当センターでは「加齢に伴うテロメアの変化と機序の解明」を実施しております。

様々な病気と加齢性変化との関連を解明することは、病気の予防や改善につながるため非常に重要です。当センターでは染色体を保護するテロメアの変化について長年にわたって研究してきました。しかし、テロメアの調節機構についても多くはまだわかっていないため、解明が求められています。

本研究では、病理診断のために採取された検体を用いて調べます。病理検体でのテロメアの変化とテロメアを調節するテロメラーゼとの関わりなどについて解析します。

具体的には昭和47年1月～平成30年9月までに東京都健康長寿医療センター(旧養育院附属病院、東京都老人医療センターを含む)で病理検査(手術、生検、解剖を含む)をお受けになった患者さんを対象としています。また本研究は患者さんお一人ずつの直接のご同意を頂かずに、このお知らせをもって患者さん皆さんからのご同意を頂いたものとみなさせていただきます。なおこの研究における患者さんの費用負担や謝礼などはございません。

研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加をご希望されない場合や、また研究に関するご質問がある場合には、下記の問い合わせ先へご連絡ください。

研究課題名：「加齢に伴うテロメアの変化と機序の解明」 「承認番号：R18-30」

研究期間：倫理審査委員会承認後から平成33年3月31日

研究責任者(所属・職名・氏名)

東京都健康長寿医療センター・病理診断科・医長・松田陽子

研究分担者(所属・職名・氏名)

- ・東京都健康長寿医療センター・病理診断科・部長・新井富生
- ・東京都健康長寿医療センター研究所・老年病理学研究チーム・研究部長・石渡俊行
- ・国立がん研究センター研究所・がん幹細胞研究分野・分野長・増富 健吉

(2) 研究の意義・目的について

加齢性変化と様々な腫瘍の関連が明らかになれば、よりよい予防、診断、治療法の提供に役立てられ、健康の促進につながることを期待されます。

(3) 研究の方法について

通常、病理検査で提出された検体は診断に用いられます。我々は、この診断が終わった検体について研究を行います。具体的には、病理検査に提出された膵臓やその他の臓器の検体を用いて、病理組織学的な変化を解析します。カルテから臨床情報(年齢、性別、病理診断、

疾患名、転帰、既往歴、嗜好、家族歴、一般血液尿検査)を調べます。テロメア、テロメラーゼの変化と、病理組織像、臨床情報、種々の検査結果との関連を解析します。各年齢層毎の変化や疾患の有無について解析し、加齢に伴う腫瘍とテロメアとの関わりを明らかにします。

(4) 資料の保管と、他の研究への利用について

病理部において検体を管理している以上、厳密な意味での匿名化は困難と考えられますが、実験を行う際には検体を個人情報とは完全に分離した形で扱っておりますので、本研究によって患者さんの個人情報が漏れる心配はありません。また、国内外に研究の成果を論文・学会等で発表する場合も、個人の特特定はできないようにしております。他の研究への利用はありません。なお研究終了後のデータの扱いについては、論文の根拠となるデータは発表後10年間保管します。保管場所については東京都健康長寿医療センター病理診断科における所定の本棚において施錠可能な状態で保管します。

(5) 問い合わせ先

東京都健康長寿医療センター病理診断科の問い合わせ先
東京都健康長寿医療センター病理診断科 松田陽子
〒173-0015 東京都板橋区栄町 35-2
電話 03-3964-1141 内線 2413 (平日 9:00~17:00)